



環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 29 年 1 月号 (第 248 号)



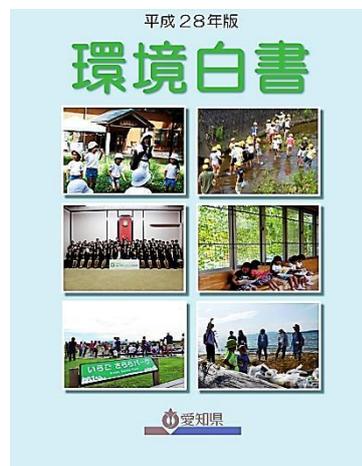
知事が生物多様性条約第 13 回締約国会議で
世界の先進広域自治体と共同アピールを行いました ……P.2

平成 28 年版環境白書を発行しました ……P.4

2 月は放置自動車ゼロ推進月間です ……P.4



知事が生物多様性条約第 13 回締約国会議で
世界の先進広域自治体と共同アピールを実施



平成 28 年版環境白書を発行しました



その他 環境情報が満載 ……P.5 ~ P.10



AEL ネット環境学習スタンプラリー開催中



亀の子隊(左)が、生物多様性アクション大賞 2016
審査委員賞を受賞しました



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



知事が生物多様性条約第13回締約国会議で 世界の先進広域自治体と共同アピールを行いました

12月9日(金)から14日(水)まで、大村知事がメキシコ・カンクンに渡航し、「生物多様性条約第13回締約国会議(COP13)」において、「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」(以下、「連合」という。)による共同アピールを行いました。

【連合の概要】

〔設立〕平成28年8月

〔目的〕・生物多様性分野における交流・連携を図ることで、相互に触発し合って取組のさらなる強化を目指す。

・連合のリーダーシップにより、世界各地域のサブナショナル政府(州、地域、県など)に対し、取組の活性化を促す。

〔構成メンバー〕愛知県、メキシコ州政府連合^{※1}、カタルーニャ州(スペイン)、オンタリオ州(カナダ)、ケベック州(カナダ)、サンパウロ州(ブラジル)

〔オブザーバー〕生物多様性条約事務局、nrg4SD^{※2}、イクレイ^{※3}、CONABIO^{※4}

※1 メキシコ国内の全32州が参加する組織

※2 サブナショナル政府の連携組織

※3 都市やサブナショナル政府の連携組織

※4 生物多様性の普及・促進を行うメキシコ政府の機関

1 連合「共同声明」採択会議(12/10)

連合メンバーなどの出席の下、大村知事から連合の趣旨と共同声明案の内容について説明し、参加者全員から同意を得て、共同声明を採択しました。



共同声明を採択

2 国際自治体会議における共同声明の発表(12/11)

大村知事がCOP10以降に行ってきた本県の取組について説明した後、連合の設立趣旨及び共同声明の内容について発表しました。続いて、連合メンバーから、各州の取組や連合に対する期待、そして愛知目標達成に向けた思いを述べ、最後に、大村知事が、これから2020年に向けて、愛知目標達成のため力を合わせていくことなどを発言しました。



連合メンバーとの共同発表

生物多様性条約事務局からは、「大変素晴らしい取組である。COP10の開催地である愛知県がしっかりとリーダーシップを持って、取り組んでくれた。まさに、このような取組を生み出すことが国際会議を開く意義である。」との言葉があり、会場から何度も拍手を受けました。

共同声明は、国際自治体会議の決議文「キンタナロー・コミュニケ」にも盛り込まれ、連合活動の大きな成果となりました。

3 連合フォーラム(12/12)

大村知事から愛知目標達成に向けたサブナショナル政府の役割と、それを踏まえて連合を設立し共同声明を発表した旨の報告を行い、次に、連合メンバー全員から、各々のサブナショナル政府の取組を発表しました。大村知事からは、本県の概要とともに、「あいち生物多様性戦略2020」の策定や生態系ネットワーク協議会の活動支援などの紹介を行いました。

その後、メンバーによるディスカッションやコメンテーターからの助言を経て、最後に、大村知事が、

連合として世界をリードしていく決意を表明しました。



連合フォーラム

4 生物多様性条約事務局長等との会談

大村知事は、12月12日、生物多様性条約事務局のディアス事務局長と会談を行いました。

大村知事は、「連合の活動に助力いただき感謝する、今後とも協力をお願いしたい」と発言し、ディアス事務局長からは、「愛知県がリーダーシップを執って取り組んでいることには敬意を表する、今後も様々な形で支援していく」との返答がありました。

また、ディアス事務局長から、「生物多様性保全には企業との連携が重要である」との発言があり、大村知事



ディアス事務局長との会談

は、「愛知県内には、トヨタ自動車㈱を始めとする環境に熱心な企業が多くあるので、一層の連携を呼び掛けていく」と返答しました。

このほか、メキシコ・ユカタン州のペロ知事、COP12開催地の韓国・江原道^{カンウォンド}のメン副知事、イタリア・ロンバルディア州のテルジ環境・エネルギー・持続可能な開発大臣と会談を行い、有意義な意見交換を行いました。

5 今後の展望

今回のメキシコにおける連合としての取組により、連合メンバーとの絆を深め、また、その取組が高く評価されたことで、国際社会の中での本県の存在感を高めることができました。

今後は、連合の共同声明でうたった「われわれの率先行動」を実行に移し、2018年にエジプトで開催される予定のCOP14に向けて、連合の取組をステップアップさせ、2020年の「愛知目標」達成に向けて、世界をリードしていきます。

【共同声明要約】

愛知目標の達成には、生態系の保全や持続的利用の取組を一体的に展開でき、また国や住民、市町村、企業、NPO、教育機関などと協働し、地域の生態系の特性に応じた固有の取組を展開することもできるサブナショナル政府の積極的な貢献が不可欠である。

1 われわれの率先行動について

・われわれは、先進的な生物多様性保全のための施策をそれぞれの地域において積極的に展開してきた。今後、こうした取組やそこから得られた成果について議論し、われわれの生物多様性保全の取組をさらにステップアップしていく。

・さらに、世界のサブナショナル政府に対し、われわれが展開する議論に積極的に参加するとともに、その成果をそれぞれの地域での生物多様性保全の取組に生かしてもらうよう呼び掛ける。

・また、nrg4SDやイクレイが主導する国際的なサブナショナル政府のための学び合いの取組に参加することを推奨する。

2 締約国への呼び掛け

・われわれは、各締約国に対し、各国内のサブナショナルその他の地方政府の能力向上に意を用いるとともに、生物多様性条約の実行や愛知目標の達成に向けサブナショナル政府をよりよく支援するよう呼びかける。

・また、条約事務局には、「生物多様性のためのサブナショナル政府、都市その他地方自治体に関する行動計画(2011-2020年)」の実現に向けた助言を今後も続けるよう呼びかける。

・われわれは、このような目標を達成しようとする締約国、条約事務局その他の重要なプレーヤーによる努力に対して、可能な限り協力する。

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

平成28年版環境白書を発行しました

環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会へ報告しています。

昭和46年の初刊発行以来46冊目となる「平成28年版環境白書」は、今年的主要な事業やプロジェクトを第1部「特集」として巻頭で紹介し、第2部では「平成27年度の環境の状況と施策」を掲載しています。さらに巻末では、環境基準等の各法令に基づく基準値などを資料編として加えています。

特集1 「環境首都あいち」を支える人づくり

～ 県民みんなでLet's エコアクション ～

特集2 「愛知目標」の達成に向けた生物多様性

保全の取組 ～「県内全域での協議会の設立」

と「国際先進広域自治体連合による連携」～

特集3 愛知県災害廃棄物処理計画

<環境白書をご覧になりたい方は>

環境部 Web ページ「あいちの環境」に全文を掲載

しています。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000057223.html>)

また、愛知県県民相談・情報センター（愛知県自治センター 2階 情報コーナー）では、1部990円で販売しています。



すがぬま 菅沼環境部長(左)からすずきたかまさ 鈴木孝昌県議会議長(右)へ報告(12月16日(金))

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

2月は、放置自動車ゼロ推進月間です！

愛知県では、2月を「放置自動車ゼロ推進月間」に定め、県内全域で路上や公園等に放置されている自動車の一掃に努めています。

放置自動車の発見台数は、自動車リサイクル法が施行された平成14年度の6,339台をピークに27年度には356台と減少傾向にあります。都市部を中心に道路、公園、河川敷等に未だに多くの自動車が放置されており、道路交通上の障害や環境保全上の問題が生じています。

このため、期間中、放置自動車の早期発見に向けたパトロールの強化、長期間放置されている自動車の撤去や一時保管場所への移動を行うとともに、広く県民や事業者の皆さんに啓発を行います。

放置自動車をなくすため、次の事項に是非ご協力ください。

- ・放置自動車を見つけた場合は、発見場所の市町村役場又は県環境部資源循環推進課に連絡をお願いします。
- ・不要となった自動車は、自動車販売店など適切に処理できる事業者へ引き渡してください。



放置自動車の撤去

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します

買い物をするときに、本当に必要かどうかを十分に考えた上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境負荷ができるだけ少ない商品を購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県では、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び団体・事業者と協働し、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中、右図のような環境ラベルが付いた商品、地元でとれた旬の野菜や詰め替え商品等地球に優しい商品を購入し、アンケートに答えて応募していただくと、抽選で255名様にQUOカード1万円分やエコ商品が当たります。



◎グリーン購入ネットワーク

1 キャンペーン期間

1月13日(金)～2月12日(日)

2 応募方法

「懸賞応募はがき」又は「ネット応募フォーム」からアンケートに答えてご応募ください。

3 環境ラベルの一例



ネット応募フォームはこちらから

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/2016greenkounyuucampaign.html>)

〔環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ〕
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

あえる AEL ネット環境学習スタンプラリー開催中!



愛知県内の環境学習施設等 160ヶ所において、「あえる AEL ネット*環境学習スタンプラリー」を開催中です。

対象施設等への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めて応募いただくと、スタンプを集めた数に応じて、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。

1 開催期間

2月28日(火)まで

2 内容

エコをテーマとした講座や見学会、観察会のほか、楽しい工作などを実施する施設等もあります。



スタンプ帳

施設・講座によっては、予約が必要なものや有料のものもあります。

3 記念品等

★A賞～C賞：いずれも図書カード

A賞：【スタンプ9個】5,000円分…抽選で5名様

B賞：【スタンプ6個】3,000円分…抽選で20名様

C賞：【スタンプ3個】1,000円分…抽選で100名様

★Wチャンス賞：惜しくもA～C賞に当たらなかった方の中から、抽選で250名様にスタンプラリー参加施設のオリジナルグッズをプレゼントします。

4 応募締切

3月7日(火)【必着】

スタンプラリー参加施設や応募方法等の詳細は、Webページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/ael_stamprally/)

〔環境活動推進課 環境学習グループ〕
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

※AEL ネットとは、「愛知県環境学習施設等連絡協議会【Aichi Environmental Learning Network】」の略称で、愛知県内の環境学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために設置されたネットワークです。

「平成28年度アスベスト対策に関する講習会」を 開催します

建築物解体時におけるアスベストの飛散防止や、平常時におけるアスベスト建材の使用実態の把握及びその適切な管理等の取組を一層推進するため、アスベスト対策講習会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

1 開催日時・場所

(1) 名古屋会場（定員 470名）

日時：1月18日(水) 13:30～15:30

場所：中区役所ホール

(名古屋市中区栄四丁目1-8)

(2) 岡崎会場（定員 230名）

日時：1月20日(金) 13:30～15:30

場所：愛知県西三河総合庁舎 10階 大会議室

(岡崎市明大寺本町1-4)

2 主催 愛知県アスベスト対策協議会、愛知県、
名古屋市(名古屋会場)、岡崎市(岡崎会場)

3 内容

(1) 「アスベストに関する大気汚染防止法等の概要
について」

愛知県環境部大気環境課

(2) 「解体時及び平時におけるアスベスト対策につ
いて」

(一社)愛知県建設業協会

環境アドバイザー 鬼頭 正克 さん

4 申込方法

1月11日(水)までに次のWebページから申込書を
ダウンロードし、お申し込みください(参加費無料、
先着順)。

([http://www.pref.aichi.jp/soshiki/
taiki/2901kousyukai.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/2901kousyukai.html))

〔大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)〕

「平成28年度VOC・水銀排出抑制セミナー」を 開催します

PM2.5(微小粒子状物質)や、光化学オキシダントを生成させる原因物質の一つであるVOC(揮発性有機化合物)の排出を抑制する取組などを紹介するセミナーを開催します。また、大気汚染防止法改正の動向を踏まえ、水銀排出抑制に向けた有用な情報も提供します。皆さんの参加をお待ちしています。

1 開催日時 1月26日(木) 13:30～16:20

2 場所 伏見ライフプラザ 5階 鯉城ホール

(名古屋市中区栄一丁目23-13)

3 主催 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、
愛知県中小企業団体中央会

4 内容

(1) 愛知県のVOC排出抑制の取組等

愛知県環境部大気環境課

(2) 講演「VOC排出削減対策最新動向(仮題)」

経済産業省産業技術環境局環境指導室

(3) 講演「水俣条約を踏まえた今後の水銀大気排出
対策」

国立大学法人岐阜大学大学院工学研究科

環境エネルギーシステム専攻

工学博士シニア教授 守富 寛 さん

(4) 取組事例「VOC排出抑制取組事例」

アイシン精機株式会社 安全衛生環境部

チームリーダー 福本 俊吾 さん

(5) 取組事例「めっき業界におけるVOC排出抑制取
組」

太陽電化工業株式会社

常務取締役 伊藤 卓 さん

5 申込方法

1月20日(金)までに次のWebページから申込書を
ダウンロードし、お申し込みください(参加費無料、
先着順、定員300名)。

([http://www.pref.aichi.jp/soshiki/
taiki/290126vochg.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/290126vochg.html))

〔大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)〕

「あいちエコチャレンジ21」県民運動に取り組んでいます ～イオン金山店にブースを出展します～

愛知県では、地球温暖化の防止に向けて、県民一人ひとりにエコライフの実践を呼びかける「あいちエコチャレンジ21」県民運動に取り組んでいます。

この取組の一環として、愛知県地球温暖化防止活動推進員が、市町村のイベントや商業施設にブースを出展し、地球温暖化防止活動の普及・啓発を図っています。

この度、イオン金山店において、「あいちエコチャレンジ21」のブースを出展します。このブースでは、LEDランプの省エネ性能をワットチェッカーで確認したり、自転車発電・手回し発電を体験することで、電力使用量の削減を呼びかけます。

どなたでも楽しんで省エネ体験をしていただけますので、皆さんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

1 出展日時 1月22日(日) 10:00～15:00

2 出展場所 イオン金山店
(名古屋市中区金山一丁目 11-17)



ブース出展の様子（イオン南陽店）

〔 大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン） 〕

化学物質に関するセミナーを開催しました

私たちの生活に欠かせない化学物質は、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。このため、愛知県では、化学物質を適正に管理して正しく使用するためのセミナーを、今年度も名古屋市と共催で開催しました。

化学物質を取り扱う事業者の皆さんを対象に、10月19日に中区役所ホールで開催した「化学物質適正管理セミナー」では、化学物質の適正管理に詳しい専門家の方から、化学物質の基礎知識、関連法令や、リスクコミュニケーションについて講演をしていただきました。

また、県民の皆さんを対象に、10月21日に愛知芸術文化センターで開催した「化学物質セミナー」では、専門家の方から、身近な化学物質との付き合い方や食品などに含まれる化学物質とリスクについて講演をしていただきました。

参加者の皆さんは、食品から摂取する化学物質のばく露量やリスクに関する説明に熱心に耳を傾け、活発な質疑応答がありました。

なお、当日の講演資料は Web ページで公表していますので、ご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/jigyoprtr/>)



化学物質適正管理セミナー

〔 環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン） 〕

エコ川柳優秀作品を紹介します



愛知県では、県民の皆さんに日常生活の中で地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に取り組んでいただく運動を推進しています。

この一環として、エコアクションを題材とした「エコ川柳」を募集したところ、約2か月間の募集期間中に2,057作品の応募があり、審査委員会(委員長: 中日川柳会会長 荒川八洲雄^{あらかわ やすお}さん)の審査を経て、優秀作品22作品を決定しました。

これらの優秀作品は昨年11月にアスナル金山等で開催した「Let's エコアクション in AICHI」の会場で展示しました。また、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、OS☆U[※]賞の受賞者には、ファイナーレセレモニーの表彰式で、知事やOS☆Uから賞状と記念品が贈呈されました。

最優秀賞と優秀賞の作品は右のとおりです。

※「あいちエコアクション広報部」として活躍している地元アイドルグループ

○最優秀賞

ひと部屋に家族集まり笑い声

(こども部門・堀江涼世^{ほりえすずや}くん(小4))

○優秀賞

地球もねきれいな空気すいたいよ

(こども部門・ひろたろうくん(小4))

微力でも地球のためにペダル漕ぐ

(おとな部門・フーテンカッチャンさん)



最優秀賞受賞の堀江くん



エコ川柳表彰式

その他の優秀作品や審査委員長からの講評などは、Webページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecosen2016.html>)

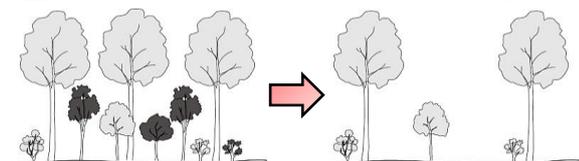
環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

かいしよ 「海上の森」でギフチョウの保全活動を実施しました

「海上の森自然環境保全地域」では、近年ギフチョウが激減しているため、ギフチョウの生息空間の保全・復元をテーマに森の整備を行いました。

1 整備方針の決定(平成27年度)

専門家の意見を聴き、屋戸川上流域を候補地として選定しました。整備のポイントは、ギフチョウの幼虫が食べるスズカカンアオイや成虫が蜜を吸うコバノミツバツツジ等の生育条件の改善と、成虫の飛行空間確保のためのササ刈りと除間伐^{じょかんぼつ}です。



過密な森から健全な森へ

2 森林整備の実施(平成28年度)

高度な技術を要する下刈や間伐は、森林整備工事として発注し、刈り払ったササ類の整理や、手鋸^{てのこ}による灌木類の除伐・整理は、地域の人々との協働による保全活動として実施しました。

保全活動は、単なる作業にならないよう、東部丘陵生態系ネットワーク協議会の大学の先生方やNPO法人海上の森の会の方々にご協力をいただき、東部丘陵地域の自然特性や里山保全の重要性についての座学や湿地観察会を併せて実施しました。

7～11月に3回開催した保全活動には、7大学、NPO等3団体、企業5社、行政2団体及び韓国の大学生など、延べ175名が参加しました。



除伐・整理を行う参加者

3 今後の展望

当課では、このような保全活動に参加していただける企業、NPO等の方々を広く募集しています。ご関心のある方はご連絡ください。

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230(ダイヤルイン)
国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229(ダイヤルイン)

「環境ボランティアサークル 亀の子隊」が 生物多様性アクション大賞 2016 審査委員賞を受賞しました

渥美半島の先端部に位置する「西の浜」で、きれいな海を守る心を広げるために、毎月1回の海岸清掃と年に数回の体験的環境学習を行っている「環境ボランティアサークル亀の子隊」が生物多様性アクション大賞 2016 審査委員賞を受賞しました。

＜生物多様性アクション大賞＞

全国各地で行われている生物多様性の保全や持続可能な利用につながる活動を国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) が表彰しています。

＜亀の子隊の受賞内容＞

“海を学び、海を食べよう！”をテーマにした「タッチングプール」と「塩づくりの会」の活動です。

「タッチングプール」では、地元の定置網漁師がその日に獲った活魚に触れて、その魚を食べます。

「塩づくりの会」は、古墳時代に盛んだった塩づくりの歴史を学び、海水を煮立てた塩を味わいます。



タッチングプール



塩づくりの会



＜審査委員からのコメント＞

湾内の生物多様性と地域文化に対する学習と体験があわさったユニークで独創的な活動です。子どもたちの心に海の恵みを培う取組が流域全体に浸透していくことを期待しています。

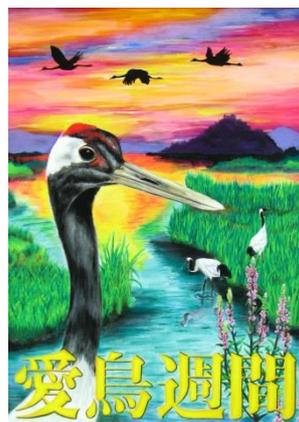
〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

愛知県選考作品が「平成 29 年度愛鳥週間用ポスター 原画コンクール」で入選しました

(公財)日本鳥類保護連盟主催の「平成 29 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国 63,712 点の中から、津島市立神守中学校 3 年の長谷川^{かもり}摩璃^{はせがわ}さんの作品が入選しました。

このコンクールには、愛知県の 753 の小・中・高等学校等から 29,740 点の応募があり、各所管事務所等で選考された 84 点の優秀作品の中から、特に優秀と認められた 30 点を愛知県選考作品として全国コンクールへ推薦しています。

県では、このコンクールを通して野生生物についての理解と関心を深めていただくため、84 点の優秀作品を愛知県弥富野鳥園で 2 回に分けて展示する予定です。また、優秀作品のうち、愛知県選考作品 30 点については、平成 29 年の愛鳥週間期間中にも県庁地下連絡通路にて展示予定ですので、是非ご覧ください。



入選した
長谷川摩璃さんの作品

- 1 愛知県弥富野鳥園展示期間 (月曜閉園)
 - ① 1月14日(土)～1月29日(日)
 - ② 2月4日(土)～2月19日(日)
- 2 愛知県庁地下連絡通路展示期間 (開庁日のみ)

5月10日(水)～5月16日(火)

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)〕

連載 「愛知県内の環境学習施設へ遊びに行こう！」(8)

～ 見て、触って、遊んで、学べる！エコハウス・小牧 ～



エコハウス・小牧は、「リサイクルハウス」と「プラザハウス」の二つの施設を合わせた愛称で、見学や体験を通して、環境やリサイクルについて楽しく学ぶことができる施設です。学校の環境学習等での利用に最適です。

◎ リサイクルハウス

リサイクルハウスでは、家庭から収集した資源ごみ（空き缶、ペットボトル、空きびん）の再資源化を行っています。ここでは、分別の様子を見学できます（事前申込み必要）。



リサイクルハウス

◎ プラザハウス

プラザハウスでは、リサイクルや環境について、楽しく学べるリサイクル体験教室の開催や、さまざまな情報発信・啓発活動を行っています。



プラザハウス

・リサイクル体験教室

リサイクル体験教室では、サンドブラスト・紙すき・とんぼ玉作りの常設体験教室や特別体験教室を開催しています。

子どもから大人まで楽しんでいただける内容で、無料で行っています。



紙すき体験教室で作成したハガキ

<施設情報>

エコハウス・小牧

開館時間：8：30～17：15

住所：小牧市大字大草 5786-83

Web ページ：<http://ecohousekomaki.jp/eco/>

【リサイクルハウス】

電話：0568-78-3631 FAX：0568-78-6717

休館日：土曜・日曜・祝日

12月29日(木)～翌年1月3日(火)

【プラザハウス】

電話：0568-78-5016 FAX：0568-78-5061

休館日：月曜日（祝日の場合は、翌平日）

12月29日(木)～翌年1月3日(火)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)



エコ博士

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成29年1月4日発行(第248号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
本紙では、環境に関する施策や情報、イベントの参加募集とその結果等を伝えています。イベントには、多くの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。
今後とも、皆さんに親しみやすい編集を心掛け、より良い愛知の環境につなげていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。